



(公社) 岐阜県理学療法士会 広報誌

<http://gifu-pt.jp/>

2021
No.136

らいちょう

飛騨支部公益事業

JA ひだ 農業まつりへの参加



2017



2018



2019

COVID-19 により中止 



2020

目次

巻頭言 謝辞「LOCK-ON ～ LOCK-ON ～♪」	2
令和2年度(公社)岐阜県理学療法士会 第1回部局長会議 議事録(要約)	3
令和2年度(公社)岐阜県理学療法士会 第3回理事会 議事録(要約)	4

各部・委員会からの報告	5
会員の声	9
賛助広告	10
賛助会員	15

謝辞「LOCK-ON ～ LOCK-ON ～ ♪」

木沢記念病院

榎 林 優

(第8代岐阜県理学療法士会会長)

2020年4月、日本理学療法士協会理事会にて「協会賞」を拝受することが決定されました。例年ですと6月の協会定時総会開催時に協会賞授賞式・祝賀会が開催されますが、COVID-19の影響により開催を見送られる運びとなり、賞状および記念品が郵送されてきましたのでお知らせいたします。

岐阜県理学療法士会役員の皆様、協会賞へのご推薦ならびに表彰までのお手配、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。自分が表彰される側になるとは…信じられない気分です。

私の県士会活動は、1985年の県士会新人歓迎会からです。当時は会員数が50人足らずで隣に座っていた方から「どちらからみえたね? (渡辺功会長、当時：岐阜市民病院)」と優しく声掛けて頂いて「先に自己紹介をすべきだった…」と猛省しました。表題が手書きの「らいちょう」が届いた時「作るの大変だあ…自分には関係ないけど」と全く他人事でした。しかし1991年、臨床実習で大変お世話になった宮沢薫会長(当時：県立多治見病院)から「調査部長をやってもらえんかね」の一言で役員修業が始まりました。もちろん断る選択肢はありません。次々と「与えられる」役割は前例が無い場合が多く、情報はすべて電話かFAXで収集。職場の事務方から「電話使い過ぎ!」とクレームを入れられながら「とりあえずこなす」「やり遂げる」という精神で「与えられた」役割を職場の仲間にも助けられながら乗り切りました。調査部ではパソコンなど無い時代ですので全て郵送&手計算。また「社団法人には学術誌が必要だから、とりあえず発行して!」と学術誌出版部として第1号を無理やり発行。誤字だらけで「校正したのか!」とお叱り。加えて「国会図書館に登録して!」の指示。国会図書館の電話番号をNTTで調べて…。林寛会長(当時：羽島市民病院)から「理事やって! 学術局長やって!」、西脇雅会長(当時：県立岐阜病院)から「副会長やって! 全国学会準備委員長やって!」、橘田正人会長(当時：多治見市民病院)から「次期会長になって!」…依頼の度に「えっ…私が!」正直、県士会活動は「厄介ごと」「面倒ごと」としか思えませんでした。

先日、TVで占い師が「周囲からの言葉をどう受け入れるか“ここは今そういう時期だ”と思えるか」「必ず絶対真面目にやっていたら周りが言ってくれる」「その道に乗れば良い」「“本当はこうじゃない”はいらない。そう見られたらやれば良い」「ただ流れに身を任せて」「やったことのないことを“はい”って言ってやる」思わず頭の中で「LOCK-ON ～ LOCK-ON ～ ♪」と歌が流れ、「成長する機会を与えてもらってたんだあ」と納得しました。

皆さん。こだわりや理想も必要とは思いますが、それに囚われ過ぎると自分の成長の目を摘んでいるかもしれません。「厄介ごと」は自分を変えるタイミングです。もし、県士会役員に誘われたら是非“乗って”みてください。自分では想像できなかった姿に成長するかもしれません。

“今日もいい日だ!” by LiSA



2020.6 協会賞盾

令和 2 年度 (公社) 岐阜県理学療法士会 第 1 回部局長会議 議事録 (要約)

日時：令和 2 年 11 月 15 日 (日) 10 時より

場所：岐阜県福祉・農業会館

出席：舟木一夫、村雲憲、河合克尚、山下恒彦、岡村秀人、岸本泰樹、臼井美由紀、小野晶代、久保田将成、田島嘉人、大場かおり、西沢喬、藤橋雄一郎、三浦大介、富田純也、伊藤康行、寺倉篤司、小島川彰浩、今井優利、鵜飼浩史、住若克弥、吉井秀仁、小林弘明、矢野夕都、辻量平、岡山好男、留田隆志、熊崎康将、藤本佳希、浅井結城、伊藤友紀、田中利典

欠席：木村信博、小池孝康、西嶋力、小久保晃、三川浩太郎、木村英司、岩島隆、名和敏晃、森輝樹、岩田裕充、小島健嗣、倉坪祐介、丹羽達貴、馬場隆幸、

会長：調査部が行った、新型コロナウイルスに関するアンケートでは、それぞれの施設が苦労されておられることが読み取れた。本会の事業も約 50 事業が中止になった。そのような中、感染予防運営マニュアルを作成し、PT 週間部では「おうち体操」を作成し無料広報誌 (12 誌) で紹介。岐阜支部では岐阜新聞主催「キッズタウン」に参加。現在は、こども福祉部が「小児リハビリマップ」を作成していただいている。今までは、県民がリハビリ小児施設を探すのが大変だったが、このマップによって紹介することができるのでとても期待している。会員向けにはオンライン研修「リハノメ」を導入した。次年度、協会の重点事業として第 1 にコロナ対策が挙げられている。実習生の受け入れ体制の構築や、新人教育の強化も挙げられている。次に理学療法士の職域維持、拡大も挙げられており、PT の活躍できる場が広がることを期待している。

行政からリハビリ関係団体と連携の需要が多くなってきており、現在行っている野球肘研修のように PT の専門性が高まる事業をもっと増やしていきたいと思う。

議題 1：令和 3 年度予算計画案 (田島)

コロナに関わらず予定があるものは予算に計上とした。

事業費 収入 当初 6,303 千円

費用 当初 15,339 千円

管理費 収入 当初 19,904 千円

費用 当初 8,768 千円

事業費の費用減少は県士会の事業を一部岐阜県リハビリテーション協議会に移行するため減額となっている。新型コロナウイルスの影響にもよるが、予算は出来るだけ計画通り執行してもらおうよう依頼した。

議題 2：令和 3 年度事業計画案 (各部長)

ほぼ例年通りの計画案となる。ただし、一部の事業をリハビリ協議会へ移行とする。

議題 3：令和 2 年度事業・予算執行状況 (一部抜粋)
選挙管理委員会 (岡山)

来年度、役員改定のため準備をしていく。県学会が中止またはオンラインとなり、選挙が必要な場合にはインターネット投票を準備するため別途費用が発生する。

表彰委員会 (熊崎)

榎林前会長が協会賞を受賞された。可能であれば県学会の席で表彰式を行いたい。

IT 部 (寺倉)

コロナ禍、動画を掲載した。今後も受け付けていく。

PT 週間部 (富田)

イベントは中止となったが、「おうち体操」動画を作成、地域の広報誌にこれを広告掲載した。

広報部 (伊藤)

対外用広報誌を作成。

調査部 (小島川)

コロナ対策調査を追加で実施。回収率 67.9%

こども福祉部 (三浦)

リハビリマップは現在 43 ヶ所。印刷は今年度中に行う。

地域包括ケア推進部 (久保田)

今年度分の県との委託契約は完了。コロナの影響で中止になった分は改めて再契約。

岐阜支部（小林）

予定していた事業は全て中止となったが、「キッズタウンぎふ」には新たに出展できた。

議題 4：令和 2 年度補正予算について（田島）

コロナの影響で大幅な補正予算の変更となった。

アシシステム推進部の一部事業を協議会へ移行することに伴い、収入が減額となり事業規模も少し小さくなるが、公益法人基準には問題はない。事務局機能強化のため事務員を時短正規職員とする。→承認

議題 5：令和 2 年度事業・予算執行について

議題 6：令和 2 年度補正予算について

（田島）今年度事業費用は、当初の計画より 390 万の減額。本来は公益法人としては好ましくないことではあるが、総務省からは数年かけて消費できる見込みがあれば良いとの通達があった。→承認

議題 7：令和 3 年度会費について

（田中）協会から会費減免についての調査依頼があり本会としての対応を決めたい。

（小池）協会会館の積立金は 1000 円減額される。

（河合）事業が実施できていないので会員に申し訳ない。

（田島）返金することは可能ではあるが、代替事業としてリハノメの契約をしたことで費用も発生しており、来年度も例年通りの事業計画となっているので財務上、大きな余裕はないのが現状。

（舟木）場合によってはリハノメ契約の延長も考えたい。

（田中）来年度、事業実施に際しては感染対策のための新たな費用（オンライン、通常よりも大きな会場の確保、感染対策備品購入など）が発生する可能性もある。

→来年度の事業実施状況によって検討。今回は会費の変更はしない。

議題 8：その他

研究開発部の助成金について

（田中）コロナの影響で研修会を実施できていない研究会もある。規定では原則 1 回以上の研修会開催することとなっているが、研修会の開催がなくても、その研究会の活動として使われているのであれば助成を認めていきたいかどうか？

令和 2 年度 （公社）岐阜県理学療法士会 第 3 回理事会 議事録（要約）

日時：令和 2 年 11 月 15 日（日）13 時 00 分より

場所：岐阜県福祉・農業会館

出席：舟木一夫、村雲憲、河合克尚、山下恒彦、岡村秀人、岸本泰樹、小池孝康、小野晶代、臼井美由紀、久保田将成、植木努、棚橋一憲、田島嘉人、吉井秀仁、伊藤友紀、田中利典

欠席：木村信博、

会長報告：今年度はコロナの影響で多くの事業が中止となっているが、今だからこそ、慣例にとらわれることなく事業の見直しをしてほしい。

議題 1：副会長及び常任理事報告

議題 2：新入会員の承認→入会手続き中 19 名を全員挙手により承認。

議題 3：令和 3 年度事業計画案について

（田中）各部、例年通りの計画となっている。一部の事業についてはリハビリ協議会へ移行することとなるが、本会として引き続き協力はしていく。

（舟木）行政の多くからリハ関連団体に対して要望がある。リハビリ協議会も法人格を取得したことから、一部の事業を移行したほうが要望に答えることができる。本会としては理学療法に特化した事業を考えていく。

→承認

議題 4：令和 3 年度予算計画案について

（田島）コロナに関係なく各部局に対して事業、予算計画の提出を依頼した。地域包括ケ

(田島) 活動をしていない場合にはどうするのか？

(田中) 全く活動をしていないのであれば助成はしない。

→活動報告書をもって確認し助成

対外向け広報誌の発行部数について

(河合) 広報部長より検討依頼があった対外広報誌の部数を 100 部または 1000 部とするのか？

(舟木) 予算的には大きくは変わらないが、まずは配布先を市町村とすることから、まずは 100 部とし、必要に応じて増刷することだろうか。

→ 100 部とする。今後はイベントでの配布も考慮し 3 つ折りにするなど工夫をしていく。

オンライン研修について

(小池) 現在 ZOOM のアカウント 1 つでいろいろな事業で共有している。個人のクレジットからの引き落としになっている。

(田島) 本会のクレジットからの引き落としに変更する。

→承認

協会の重点事業について

(舟木) ほとんどがメディカルサポート部で担っている。本会の組織編成も検討していくべき。

(田島) 部局同士の横の繋がりも強化し本会を盛り上げていってほしい。

→ニーズに合った事業部編成を検討していく。

<各部・委員会からの報告>

事務局より

会員登録内容変更のお願い

日本理学療法士協会への会員登録の際、「自宅会員」または「郵送物送付先を自宅」とされた方で、登録先を所属施設に変更可能な方は手続きをお願い致します。本会の財政負担軽減にご協力ください。

また、勤務先が変更となった場合にも異動登録をして頂けない場合には、お手元に大切なお知らせ等が届かないことがあります。速やかな手続きをお願いします。

会員のみなさまのご理解とご協力をお願い致します。

尚、登録変更は（公社）日本理学療法士協会マイページより各自お願いいたします。

【お問い合わせ】

医療法人社団 友愛会 介護本部

（公社）岐阜県理学療法士会

事務局長 田中 利典

TEL 058-296-7370

厚生部より

厚生部では会員の皆様の福利厚生で、ご結婚の際にカタログギフトを贈呈しています。

※結婚届を申請する場合は、連絡のとれる電話番号の記載をお願いしています。

何らかの確認でお電話を差し上げることがありますので、必ず連絡のとれる番号をご記入願います。058－276－7755 から番号通知しておかけします。ご協力をお願い致します。

厚生部では、下記の内容を実施しております。

- 1) 災害見舞金 会長の判断による。
- 2) 結婚のお祝い 会員の結婚に際しお祝いの品(カタログギフト)を贈る。
(本人または他会員の申請による)
- 3) 弔電 会員の両親、配偶者、子供死亡の場合は弔電。
会員外は会長が認めた場合。
- 4) 供花 会員本人に不幸があった場合、供花を供える。
- 5) イベント助成 会員有志によるスポーツ大会などの助成。
企画型) フットサル等 多人数で行う競技の助成
参加型) マラソン等 個人競技

上記以外にもご意見・要望、不明な点がございましたらご連絡ください。

連絡先

〒500－8288

岐阜県岐阜市中鶉2丁目99番地

TEL 058－276－7755 FAX 058－276－7733

介護老人保健施設 喜の里

名和 敏晃

シルバーリハビリ体操 指導士養成講座開催（大垣市）

2020年9月10日から同年11月19日にかけて、「令和2年度大垣市シルバーリハビリ体操指導士養成講座」が大垣市奥の細道むすびの地記念館（大垣市）にて開催されました。

日程としては、毎週木曜日の10週連続というタイトなスケジュールであり、このコロナ渦にて集うことの難しい中、大垣市（大垣市保健センター 理学療法士）の全面協力を得ることができ、参加者の皆様も体調を崩すことなく無事に終了しました。



シルバーリハビリ体操とは、大田仁史先生（NPO法人日本健康加齢推進機構 理事長）が考案した「介護予防」と「機能維持」を目的とした動作学・障害学にもとづいた体操です。茨城県では平成17年からシルバーリハビリ体操指導士による体操普及活動に取り組み、県民の生きがいや身体機能の保持、閉じこもり予防、さらには、介護保険の要介護認定者

数や介護保険料の増加抑制にも効果をあげています。

本事業は「自助、共助、公助」の精神により住民自らが資源となり、官民一体となつてともに乗り切っていくためのシステムの構築と、介護



予防体操であるシルバーリハビリ体操の普及を通じて、住民に介護予防やリハビリテーションについて正しい知識を学んでもらい、それを住民が住民に伝え、教え、実践し、共に住みよい暮らしやすい地域社会を作っていくことを目指しています。

岐阜県理学療法士会（地域包括ケアシステム推進部）でも、このシルバーリハビリ体操事業を県下に展開するために令和元年度より県内市町にて体操指導士養成講座を実施しております。本事業は、体操の内容もさることながら、住民が住民を育てる仕組みが確立されており、「住民主体・参加型事業」となっています。

今回の参加者の中には既に地域でサロン活動をしている方もいましたが、終講時には今回得た知識を多くの地域の方々へお伝えしたいとする声が多く聞かれました。

今回は参加者が会場の都合もあり20名となりましたが、参加者が公募から3日で満員御礼となったことを鑑みると、大垣市（地域）には、地域で地域を何とかしたいという気持ちが強いことが分かりました。今後とも、このような地域と共に地域課題





を共有し、解決できる道を探ってゆきたいと思います。

最後とはなりましたが、本事業を円滑に進めるために旗振り役となって頂きました大垣市の関係者の方々には深謝いたします。

(文責：岡村 秀人)

令和2年度 山縣市派遣事業 参加報告

今回、令和2年11月10日・17日と2週に渡り山縣市からの依頼にて、同市のNPO法人どんぐり会による「かんたん体操」の視察および体操内容について助言等を行う機会を頂きましたのでご報告させていただきます。

現在も各地域において高齢化率や要介護認定率が増加傾向にあり、社会保障費の圧迫は切実な問題になりつつあります。岐阜県理学療法士会としても、「地域包括ケアシステム」の確立に向けて急速な整備体制が求められていると感じております。

今回の山縣市の取り組みは、NPO法人のボランティアの方が自己研鑽にて学習し、地域の皆様に体操を指導するといった内容でした。ストレッチングやスローダイナミクスエクササイズ、二重課題などバリエーションに富んだ内容でした。専門職ではない一般の方が率先して体操を指導されている姿はとても素晴らしいものでした。療法士としては運動時の負荷量、ストレッチングと筋トレのバランス、なぜ

この運動が必要なのか動機づけのポイントなどを専門職の目線より助言させて頂きました。



また、地域における体操教室はどうしても体を動かすことが目的となり、その先の日常生活への結びつきへのアセスメントはまだ不十分かと思います。体操を行う目的は何か？健康寿命を延ばしどんなことへの「活動・参加」を促していきたいのか？それらの未来のビジョンを明確にしてサポートすることが望まれます。



厚生労働省も地域で生活支援が一体的に提供される仕組みづくりが必要であり、それらの根本を支えていくためには専門職による直接的な指導だけでなく、山縣市のモデルのような「自助」の支援と「互助」の広がりが大切だとしています。自らの健康を管理し、ご家族や友人、地域で支え助け合っていく。

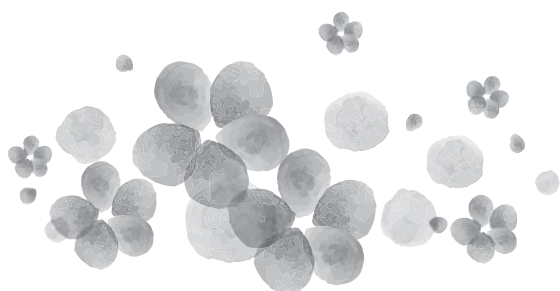
少子高齢化問題やコロナ禍である厳しい財政状況の中、「公助」や「共助」の拡充を求めることは難しいと考えます。

今の生活を少しでも住み慣れた地域でかつ健康に過ごすために、地域特性を生かしたインフォーマルサービスの充実に向けても様々な形で地域に関わっていける療法士を必要としています。病院や施設などの型の中だけではなく、地域という広い世界で療法士の新しい「カタチ」を会員の皆さんと作り上げていきましょう！！

専門的な意見もお聞き
することができ、大変
勉強になりました。
これからも地域の方の
ために頑張ります！
(NPO 法人どんぐり会)



介護老人保健施設 ラポール
理学療法士 若山和貴



< 会 員 の 声 >

小規模多機能ホーム・グループホームの リハビリテーション導入にあたって

株式会社平安

小規模多機能ホームしゃくなげ

岡田 秋斗

私事ではありますが、2020年9月より5年間勤務させて頂いた病院を退職し、山県市にある介護施設に入職しました。以前の職場では、回復期を中心に理学療法士としても一社会人としても様々な事を経験させて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。

かねてから興味があった生活期・地域リハビリに携うことができる機会を得て、新天地にてこれからの期待が膨らむ一方不安もありました。歴史ある施設に新たにリハビリを導入していくこと、そして新型コロナウイルス感染症が流行する世の中で今後どうなっていくのかと。

株式会社平安は山県市にある小規模多機能型居宅介護（小規模多機能ホーム）と認知症対応型共同生活介護（グループホーム）を運営する介護施設です。「通い」「宿泊」「訪問」を組み合わせ、自立支援のサービスを提供する小規模多機能ホームと、認知症高齢者を対象に少人数での共同生活を支援するグループホームにリハビリをどのような形で導入できるかを現在も試行錯誤しながら取り組んでいます。その中で利用者様、スタッフの皆さんからたくさんの新たな発見や学びを得られていると実感しています。

その中の一つが、利用者様一人一人の人格を尊重し、生活を支援する大切さです。これは介護職向けの研修に参加させて頂くと、よく話題として取り上げられています。“その方の暮らしや馴染みの物、環境などに合わせ同じ目線に立って関わっていく”これは介護職に関わらず、医療・福祉に携わっている専門職の原点でもあると思います。

入職して半年が過ぎ現在は施設マネージャーとして、会社や現場のマネジメントも任せて頂く立場になりました。コロナ禍で人との対面での関わりが減少し、施

設も面会制限や受け入れ方法を工夫する一方で、現在私達の目の前にいる利用者様に対して何ができるか前向きに考えていくことと共に、利用者ファーストのサービスを今後も提供し続けていきたいです。

最後に、新型コロナウイルス感染症が一日でも早く終息し皆様が安心できる生活に戻りますよう心からお祈り申し上げます。



令和 2 年度 賛 助 会 員

会 社 名 ・ 施 設 名	電 話 番 号
有限会社 加納ビジネス 〒 500-8456 岐阜県岐阜市加納大黒町 2 - 32	TEL 058-273-3007 (代)
有限会社 中部義肢 〒 486-0911 愛知県春日井市西高山町 3 丁目 16 - 12	TEL 0568-34-7143
岐阜保健大学 〒 500-8281 岐阜県岐阜市東鶯 2 丁目 92 番地	TEL 058-274-5001
東名ブレース株式会社 〒 489-0979 愛知県瀬戸市坊金町 271	TEL 0561-85-7355
株式会社 松本義肢製作所 〒 485-0805 愛知県小牧市大字林 210 - 3	TEL 0568-47-1701
学校法人誠広学園 平成医療短期大学 〒 501-1131 岐阜県岐阜市黒野 180	TEL 058-234-3324
中部学院大学 〒 501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘 2 丁目 1 番地	TEL 0575-24-2211
株式会社 ケア 〒 502-0848 岐阜県岐阜市早田本町 1 丁目 9 番地	TEL 058-233-7981
株式会社 大塚製薬工場 〒 500-8856 岐阜県岐阜市橋本町 2-20 濃飛ビル 9 階	TEL 058-227-3811
インターリハ株式会社 〒 114-0016 東京都北区上中里 1-37-15	TEL 03-5974-0231

編集後記



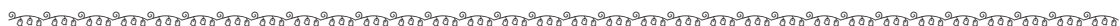
らいちょう 136 号作成に当たり、巻頭文・会員の声の原稿依頼を快諾して、ご協力下さいました、榎林優氏、岡田秋斗氏に感謝致します。
この場を借りて、お礼申し上げます。

今さらですが「あけまして、おめでとうございます」。

2021 年の始まりもコロナ関連のニュースが絶えず 2 回目の緊急事態宣言も発令され去年の流れを引きずりながらも 2 ヶ月が経とうとしています。

2020 年は新型コロナウイルスによって世界中が振り回された年であり去年を表す一文字の漢字も【密】とコロナ関連で締めくくった一年となりました。

今年は良い年となるように思いこめて今年一年を表す漢字を勝手に決めたいと思います。それは『優』です。余裕が持てない今だからこそ各自が余裕を持ち他者に優しく助け合えるような年となるようにこの字を選びました。良い一年になりますように。(M)



公告掲載のご案内

士会ニュース公告掲載のお問い合わせ・申し込みにつきましては
広報部までお願いいたします。

広報部

〒 503-2417 揖斐郡池田町本郷 1551-1

医療法人社団橘会 新生病院

リハビリテーション科 伊藤康行

TEL.0585-45-3161 FAX.0585-45-3255

E-mail : shinsei4@octn.jp



2021. 2. 20

発行人：公益社団法人 岐阜県理学療法士会

会長 舟 木 一 夫

事務局：〒 500-8384 岐阜市数田南1丁目 11 番 12 号

岐阜水産会館 4B-4 号室

TEL・FAX (058) 277 - 6166

編 集：伊藤康行

印刷所：(有)いすくら

